



特許出願中！



自在型

単管パイプを垂直に立て起こす 単管ジョイント



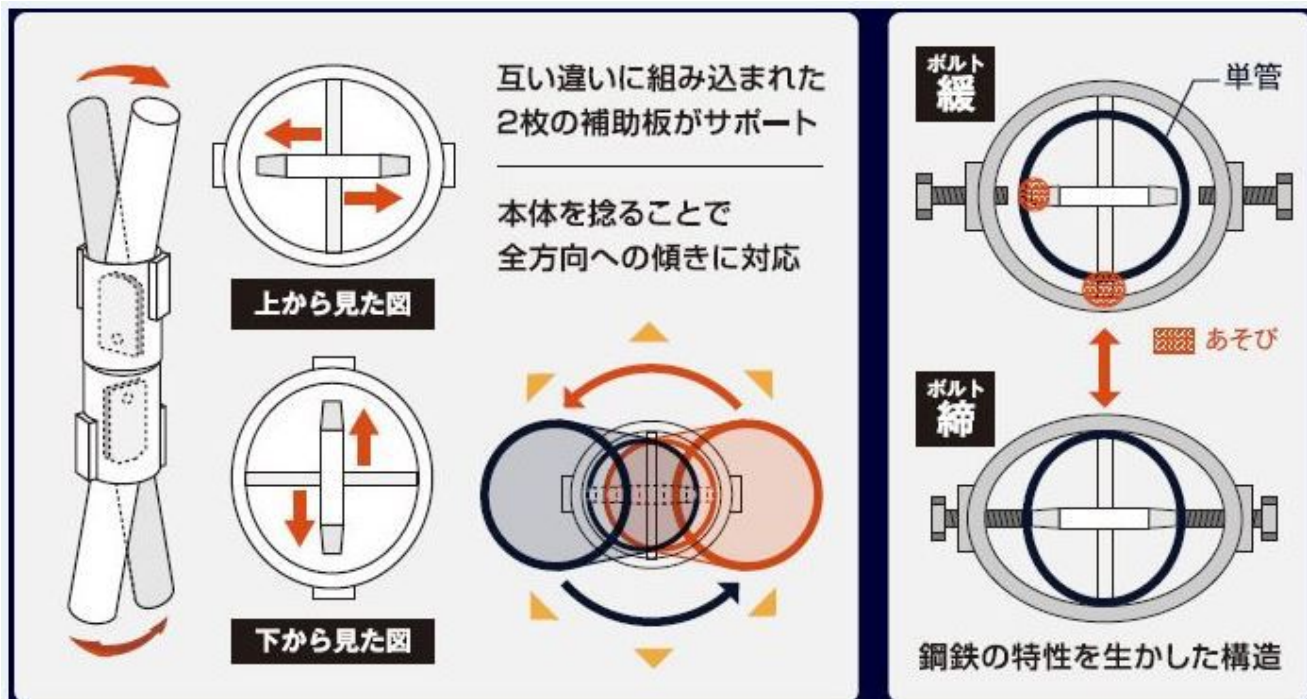
単管パイプを一人で垂直に立て起こす

- ・外径 ϕ 48.6 厚み 2.4 mm 仕様
- ・打込んだ単管杭が傾いても単管パイプを垂直につなげます。
- ・単管杭の支点がずれません。
- ・手元なしで一人で長い単管パイプを垂直につなげます。
- ・ボルトはハイテンションボルトを使用。
- ・ボルトを締め込んでも単管パイプは変形しません。



9度までの傾きを吸収

★ マッサグッドの構造



★ 単管ジョイント「マッスグッド・自在型」について

地面に斜めに打込まれた単管パイプ及び【スカット91】に立て起こし用の単管パイプを垂直につなげるジョイント金具です。

2個の自在クランプを使用する場合、単管杭を中心に回転させ同時にクランプをひねりながら調整し、単管パイプが垂直になるポイントを探し固定します。

この場合、立て起こした単管パイプの支点が定まらず、複数の単管パイプの支点を揃えたい時などに問題が生じます。

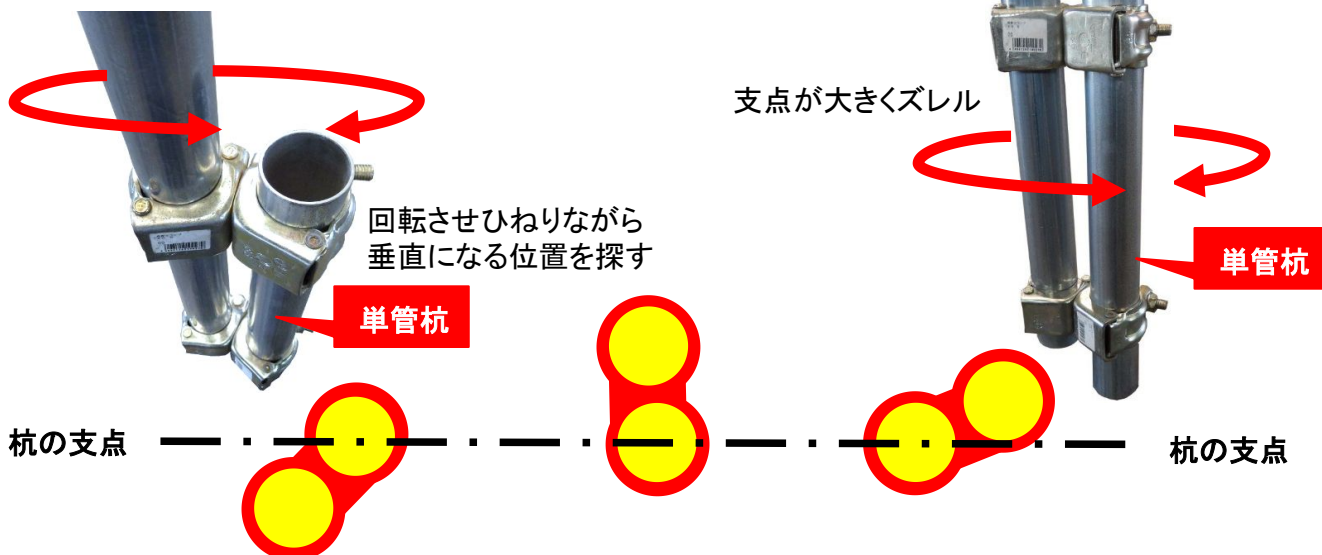
又、この作業にはある程度の経験が必要となり、長い単管パイプを立て起こす場合は一人では困難で、複数の作業員が必要となります。

打込まれた単管杭に【マッスグッド・自在型】を差込み、延長用の単管パイプを差し込みます。

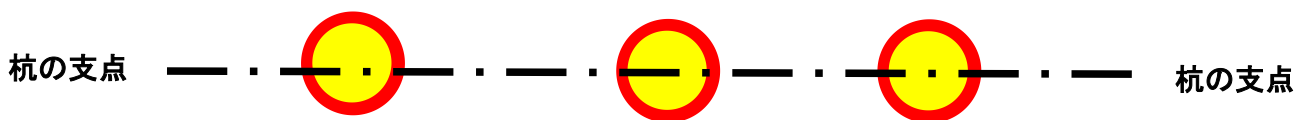
この時点で単管パイプを手で保持し続ける必要が無く、単管杭と立て起こす単管パイプの支点のずれもほとんど無くなります。

JQAの引抜試験では、ボルトの締め付けトルク35Nmで60.4 kNの結果が出ていますので接続部の抜けやゆれが生じる事はありません。

こんな声に答えて



マッスグッド・自在型なら



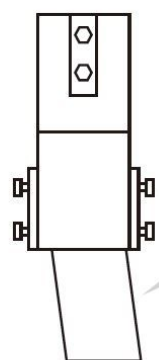
製品概要	鋼種	SGP / SS400
	サイズ	100mm×120mm
	重量	1.1 kg
	表面処理	三価クロメートメッキ
	引張試験	60.4 kN (最大荷重)・JQA試験結果 ボルト締め付けトルク35Nm

マッスグッド・自在型 取扱い説明書

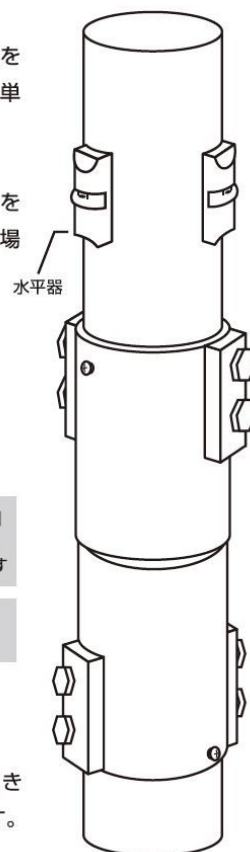
1 マッスグッドの取り付け

打込んだ杭にマッスグッドと単管をセットし、2つの水平器を接続した単管の手前と横に取り付けます。

杭の傾きにに合わせてマッスグッドを回し、2つの水平器が垂直を示す場所を探します。



マッスグッド下側のボルト部の向きと、杭の傾き方向が目安になります。

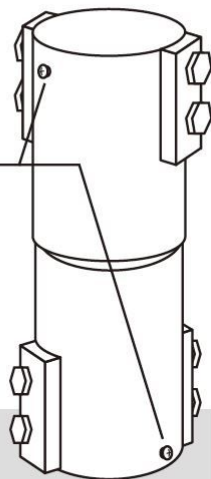


2 マッスグッドの仮締め

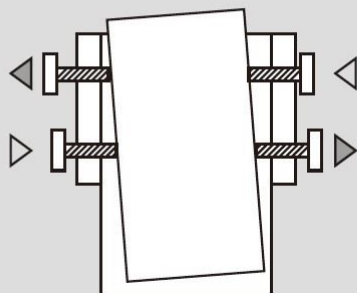
マッスグッドのおおよその向きが決まったら、抜け防止用ビスを締めておきます。

抜け防止用ビス

次に水平器を確認しながら全てのボルトを手締めしていきます。



マッスグッドの構造



左側に傾ける場合
右側に傾ける場合は、左図とは逆にボルトを締めてください。

3 調整方法

手締めしたボルトを締めて最終調整をしていきます。この時、マッスグッド下側から調整を行うと作業がしやすくなります。

水平器の動きを確認しながら、上下各4つのボルトを本締めすれば作業完了です。

推奨されるボルト調整の順番

各ボルトは、それぞれ同じ番号になったものが同じ動きをします。

ボルト締め推奨トルク

35Nm(3.57kgf·cm)

